

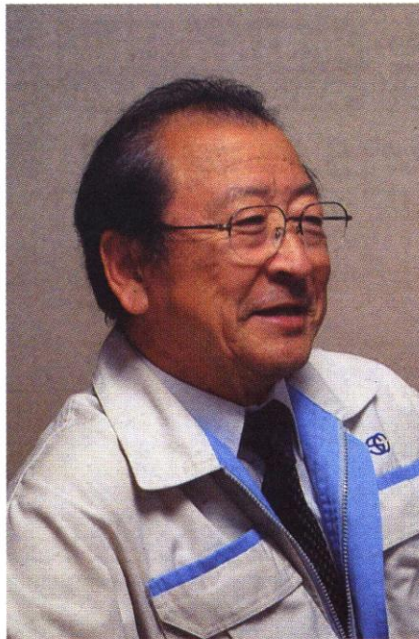
作業に合う予算・工期 著書で理解を求める

「コンクリートの品質は、施工の仕方が大きく変わります。ひび割れない耐久性の高いコンクリートをつくるためには、正しい工法に則ることが大切」と岩瀬氏。

その方法を解説したのが、著書「徹底指南 ひび割れないコンクリートのつくり方実践編」(下写真)。コンクリートの耐久性が強度ではなく密度で決まる点を踏まえ、水の少ない硬い生コンを丁寧に型枠内に詰める方法や、生コンの配合、型枠や鉄筋を組む際の注意点、打設計画のポイントなどについてまとめている。「正しい工法でつくったコンクリートは、表面が大理石のようにツルツルしていてきれいなんです。家づくりを考えている一般の方々もぜひ読んでほしい。作業に見合うだけの予算や工期の確保、現場の職人さんたちが気持ちよく作業できる環境づくりの大切さを実感していただきたいと思います」

なお、当紙でも月1回(第2金曜日)「わかる!コンクリート」を執筆連載中。長く住み続けられる家づくりの参考にしては。
株式会社総合コンクリートサービス
(東京都あきる野市瀬戸岡303)
電話=042・558・6637
ホームページ=http://www.sc-con.com

岩瀬文夫・岩瀬泰己著 日経BP社
発行 定価3600円(税別)



いわせ・ふみお 1947年生まれ。コンクリート主任技士。「コンクリートのひび割れは正しいつくり方の実践で解消する」という持論の下、全国各地で講習会を開催。主な著書に「ひび割れないコンクリートのつくり方(日経BP社)」など。



岩瀬 文夫さん(62)

(株)総合コンクリートサービス 代表取締役

正しい工法の普及に奔走

「コンクリートが固まるためには、草花と同じように水が欠かせません。余分な空気を追い出しながら、型枠の隅々にまで、水の少ない硬い生コンを詰め込み、適度に水をやりながら、ゆっくり養生する。そうすれば、ひび割れない耐久性の高いコンクリートが出来ます」
穏やかな口調で、講習会に参加した建築士や工事関係者(現場の職人など)を、目からウロコの思いにさせる。ひび割れないコンクリートの工法普及のため、全国各地で精力的に講習会を開く。

ひび割れないコンクリート

家庭の事情で進学をあきらめ、アルバイトの延長で入社した生コン工場の試験室に勤めた。「旧運輸省で技官として勤めていた、コンクリートに詳しい上司から『セメントを手で握ってごらん。新しいセメントは指の間をすり抜けるけど、古いと簡単に握れるだろう?』といった具合に、コンクリートのいろはを体験を通して教えてもらいました。そのことに影響を受け、専門書に書かれたさまざまな技術を職場で日々試したことが、今の自分につながっています。強固なコンクリートの造り方に、夢中になっていった。同工法の普及には、家づくりにかかるコスト、設計者・工事関係者の理解と協力が大切だ。『施工の予算が限られる一方、ひび割れないコンクリートをつくるには、それなりに人手や工期も必要。例えば、(我那覇宗貴)』

「家庭の事情で進学をあきらめ、アルバイトの延長で入社した生コン工場の試験室に勤めた。その分、コンクリート工事に回す提案をし、工事関係者には、手間ひま掛けて打設することを惜しまないよう説得する。設計者は、その意味で重要なアンカーなのです」
これまで3度来沖した。鉄筋コンクリート造の住宅が主流の県内で、同工法に基づく家づくりを実践する建築士が増えてきていることに手応えを感じている。
社名に冠せられた「総合」は、「コンクリートのことなら何でも」という思いから、「コンクリートが長寿命化すると、住む人の命や財産を守ることはもちろん、生産に伴う莫大なCO2の排出も抑えられます。ひび割れない工法を、日本の建築技術の標準にすることが夢」と目を輝かせた。(我那覇宗貴)